

自己点検評価結果

改善・向上が必要と確認された事項	対応
<p>・プログラムの主構成となる教員団内の情報共有、協力体制が十分とはいえず、プログラムの特徴を十分活かし切れていないことが懸念される。</p> <p>・学士課程教育システム URGCC との連動を図るとともに、プログラムとしての個性を伸ばし、集団によって教育効果を発揮する「課程教育」の理念の実現に向け、継続的改善に取り組まれることを切望する。</p>	<p>継続的改善に向けて卒業生の就職先に対して3年に1回の外部アンケート調査を2023年度に実施する。また、プログラムの継続的改善にはシラバスが重要であると考え、URGCCに従って相互のシラバスチェックを継続する。教員間の情報伝達として JABEE プログラムにおける教育改善の取り組みについて、学科会議関連資料と同様に Teams にて共有するようにしている。</p>